

巨星墜つ

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/6/10

これまでのあらすじ

- イスラエル最初の王サウルは、2度も主に背いたので、主は早々と次の王ダビデを任命された
- ダビデは豎琴を弾くためにサウルに仕えたが、武勇にも優れ、連戦連勝だったためにサウルにねたまれ、命を狙われるようになった
- ダビデはサウルに追われ、荒れ野を数年間さまよった。その間、2度もサウルを討つ機会があったが手を下さなかった
- サウルはギルボア山でのペリシテとの戦いにおいて深手を負い、最後は自害して死んだ

ダビデ,イスラエルの王となる

- ダビデは出身部族であるユダ族の王となったが,他の部族はサウルの息子イシュ・ボシェトを王とした
- 両軍の戦い,駆け引きがしばらく続いた後,イシュ・ボシェトが暗殺され,すべての部族がダビデを王とした
- ダビデはエルサレムをエブス人から奪い,神の箱(契約の箱)を運び上った
 - エルサレムはアブラハムがイサクを献げた場所
 - 「主の箱を担ぐ者が六歩進んだとき,ダビデは肥えた雄牛をいけにえとしてささげた。主の御前でダビデは力のかぎり踊った。」サムエル記下6:13-14
- ダビデは周囲の国々をほとんど屈服させた

ダビデの大罪(サムエル記下11章)

- わずかに残った敵を攻撃するため全軍を送り出したが、ダビデはエルサレムにとどまっていた
 - それまでダビデは共に出陣していた
- ダビデが昼寝から目覚めて王宮の屋上を散歩していると、美しい女性が水浴びをしているのを見つけた
 - その女性は家臣ウリヤの妻バト・シェバであった
- ダビデは彼女を召し入れた。彼女が子を宿したと知ると、夫ウリヤを戦いの最前線に出し、殺させた！
 - 「書状には、『ウリヤを激しい戦いの最前線に出し、彼を残して退却し、戦死させよ』と書かれていた」11:15
- **強欲・盗み・姦淫・殺人**の4つの大罪を犯したのである

預言者ナタンの叱責(サムエル記下12章)

- 主は預言者ナタンをダビデのもとに遣わし、ダビデが罪を犯したことを認めさせた
 - ナタンのたとえ話>豊かな男が貧しい男から大切にしていた一匹の子羊を奪い、客に振る舞った。
 - ダビデ>「そんなことをした男は死罪だ!」
 - ナタン>「その男はあなただ!」
- ナタンはダビデの罪を指摘し、厳しい裁きを宣告した
 - 「なぜ主の言葉を侮り、わたしの意に背くことをしたのか。あなたはヘト人ウリヤを剣にかけ、その妻を奪って自分の妻とした。ウリヤをアンモン人の剣で殺したのはあなただ。」9
 - 「あなたの家の者の中からあなたに対して悪を働く者を起こそう。あなたの目の前で妻たちを取り上げ、あなたの隣人に与える」11
 - 「生まれてくるあなたの子は必ず死ぬ」14

ダビデに下った裁き

- バト・シェバが産んだ最初の子はすぐに亡くなった
 - 次に産んだ子がソロモンで、主に愛された
- ダビデの3男アブサロムは自分の妹が辱められた復讐として、長男アムノンを殺した
 - アブサロムはすぐに逃げたが、ダビデは3年後に彼を赦し、エルサレムに呼び戻した
- アブサロムはダビデ王の評判を下げ、民の心をつかみ、ヘブロンで王を自任し、全部族に知らせた
 - そのことを知るとダビデはすぐにエルサレムを離れた
- アブサロムはエルサレムに入り、ダビデのそばめたちを辱めた

ダビデの悲しみ

- ダビデ一行を討つべくアブサロムは出兵したが、ダビデの兵に返り討ちにあい、アブサロムは戦死した
- アブサロムの訃報を聞き、ダビデは激しく泣いた
 - 「わたしの息子アブサロムよ、わたしの息子よ。わたしの息子アブサロムよ、わたしがお前に代わって死ねばよかった。アブサロム、わたしの息子よ、わたしの息子よ。」19:1
- ダビデは再びエルサレムに戻り、40年間イスラエルを治め、息子ソロモンに王位を譲った
 - ソロモンはバト・シェバが産んだ2番目の子ども
 - 「あなたの神、主の務めを守ってその道を歩み、**モーセの律法に記されているとおり、主の掟と戒めと法と定めを守れ。**そうすれば、あなたは何を行っても、どこに向かっても、**良い成果を上げることができる。**」列王記上2:3

このお話が教える真理

- 何も困難がない時に罪を犯しやすい
 - 周囲の国々をほぼ平定し、昼寝から起きた時…
- 自分が罪を犯していると自覚することは難しい
 - ナタンに指摘されるまでダビデは気づかなかった
- **王様であっても** (だからこそ?), 神様の教えに従わなければ、厳しい罰が下った
 - 他の国であれば、王様は何でも思い通りにできた
- ダビデは神様の前に**悔い改めた**ので、これ程大きな罪を犯しても**赦された**
 - 「ダビデはナタンに言った。『わたしは主に罪を犯した。』」 サムエル記下12:13

詩篇51篇

3 神よ、わたしを憐れんでください／御慈しみをもって。
深い御憐れみをもって／背きの罪をぬぐってください。

4 わたしの咎をことごとく洗い／罪から清めてください。

12 神よ、わたしの内に清い心を創造し／新しく確かな
霊を授けてください。

18 もしいけにえがあなたに喜ばれ／焼き尽くす献げ
物が御旨にかなうのなら／わたしはそれをささげます。

19 しかし、**神の求めるいけにえは打ち砕かれた霊。打
ち砕かれ悔いる心**を／神よ、あなたは侮られません。